

ワークショップを通じて学ぶ

組織課題から紐解く『社内ベンチャー制度』推進の勘所

～社内イノベーターをどう育成するか～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年4月25日(木) 14:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(麹町5丁目)

【ご参加頂きたい方】

- ・社内ベンチャー制度の企画・運営を行っている方
- ・社内ベンチャー制度に課題を持っている方

講師 株式会社アドライト 代表取締役 CEO 木村忠昭 氏



講演者紹介
大学院卒業後、大手監査法人に入社し、株式公開支援業務に従事。2008年、イノベーション共創を手掛ける株式会社アドライトを創業。合わせて国内スタートアップ企業へ社外役員就任によるハンズオン支援を行い、うち5社(ユングレナ、じげん、クラウドワークス、エスエルディー、マネーフォワード)が上場を果たす。アジアやアメリカの海外スタートアップ企業の支援にも積極的で、これまでに20社以上の投資育成を行いうち3社が買収される。これら国内外スタートアップの知見やネットワークを活かし、大手企業のオープンイノベーションにおける一気通貫での事業化支援を得意とする。主要な国立/私立大学との産学連携プロジェクトの支援実績も豊富。東京大学経済学部経済学科、東京大学大学院経済学研究科修士課程卒業。

【申込方法】 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

191210-0101 (※) 組織課題から紐解く社内ベンチャー制度推進の勘所			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamjaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

新規事業を進めるにあたって、社内ベンチャー制度を実施する企業が増えてきています。しかし、社内ベンチャー制度を通じて新製品や新サービスなどを検討しても、社内推進体制がうまく構築できず、その後の事業検討がなかなか進まない、イノベティブな発想や事業を推進できる人材・マインドセットがなかなか育たない、といった制度運用面での課題が顕れているのが現状です。

そこで本セミナーでは、社内ベンチャー制度の推進体制や人材育成、人事評価など、社内ベンチャー制度における組織的成功要因を理解します。そして、自社の新規事業推進における阻害要因を洗い出し、具体的なアクションプランを打ち出すことで、受講後、自社に戻ってからスムーズに施策が実行できる状態を目指します。

1. イントロダクション

2. 社内ベンチャー制度に関する基本解説

- (1) なぜ社内ベンチャー制度が必要か
- (2) 社内ベンチャー制度の成功事例と成功ポイント

3. ワークショップ

「新規事業を創出する」「新規事業開発が出来る人材を育成する」「新規事業を起こすための風土醸成を実現する」など、自社における社内ベンチャー制度の目的について再定義する。そして、新規事業立案者、人事部、経営層のそれぞれの課題を深掘り、新規事業推進における全体最適を実現するためのアプローチが実行可能となる状態を目指します。

- (1) 自社の社内ベンチャー制度における現状の整理
- (2) 自社の社内ベンチャー制度における各関係者の成功の定義
- (3) 各関係者が抱える課題の洗い出し
- (4) 課題解決に向けたアクションプランの立案
- (5) アクションプランの共有
- (6) グループディスカッションの共有

4. 講師からの総括

ワークショップのフィードバック

5. 質疑応答

※講師とご同業の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。